



萩

萩の産業遺産群
株式会社村上商店

世界遺産のある、 故郷

Home town with the world heritage

世界的な遺産となる歴史をもつ、わたしたちの故郷！

先人たちの意志を、偉業を、未来へ継承し

この土地で新たな歴史をつむいでいくことは、わたしたちの使命です。

山口、広島、北九州の世界遺産と、

地元を愛し、故郷の発展を願うお取引先をご紹介します。



宮島

宮島厳島神社
株式会社やまだ屋



北九州

官営八幡製鐵所旧本事務所
和菓子なごし



山口フィナンシャルグループ
2016年カレンダーでも、
山口・広島・北九州の世界遺産を
ご紹介しています。



萩城下町

萩

世界遺産のある、
故郷。

Home town with the
world heritage

萩の産業遺産群(2015年 世界文化遺産登録)

萩の産業遺産群は産業技術導入の最初期の産業遺産群で「萩反射炉」「恵美須ヶ鼻造船所跡」「大板山たたら製鉄遺跡」「萩城下町」「松下村塾」の5つの資産で構成されています。幕末に西欧の技術を取り入れ産業化を目指した萩(長州)藩の全体像とその特質を明瞭に現していることに大きな価値があります。



恵美須ヶ鼻造船所跡



大板山たたら製鉄遺跡



松下村塾



萩反射炉

市民の誇りである
萩の歴史を
次の世代に
残していきたい

萩市商工観光部観光課

藤原 章雄さん



萩市では、ボランティアガイド事業に力を入れ、地元の市民や子どもたちに萩の歴史を語りついでいきたいと考えています。萩の観光では見るだけでなく、ボランティアガイドの案内説明を聴くことで、それぞれの物語を知り、萩に興味を持つてほしいと思うからです。

昨年、大河ドラマの舞台としてにぎわった萩。今年1月にはその「花燃ゆ大河ドラマ館」が「萩・世界遺産ビジターセンター」に生まれ変わりました。

ドラマでは萩を代表する歴史史跡として印象づけた「明倫館」跡一帯の整備も進んでいます。そして、明治維新150年の節目となる平成30年には、数々の記念事業を計画しています。

まだまだ大河ドラマの興奮さめやらぬ萩のまちを、ぜひ何度も訪れ、萩観光の「通」になっていただけるとうれしいですね。



山口銀行萩支店 守永有沙



やわらかく適度な歯ごたえのわかめを素材に、しそ、ごま、かつおだしで味付けしたソフト海藻ふりかけ。老若男女を問わず、お子様にも人気です。

人との縁を大切に 地域での取り組みが 地域浮上の鍵

指月山と海、六島村を見るたびに「あそこに勝てる風景はない」と思っています。それほど美しい風景の広がりをもつのが萩なのです。世界遺産登録と大河ドラマ「花燃ゆ」の相乗効果で、萩が全国的に知られ、多くの人がこのまちを訪れるようになりました。このチャンスを活かし、今後も萩の魅力を全国に発信し続けていくためには、人と人とのつながりが大切です。この思いから、「地域と共に」を基本コンセプトに当社の全国販売網を活用し、

株式会社井上商店 代表取締役社長

井上 伊三郎さん



しそわかめを代表とするソフトふりかけシリーズ。萩ならではの夏みかんわかめなど多彩な味が揃っている。1袋 410円(税込)

醤油店や味噌店などさまざまな業種の地元企業と連携した新商品の開発「萩クオリティプロジェクト」を展開しています。萩を売り込むために、自社商品には「萩井上」と表記、裏面には萩を紹介する説明文を刻印。全国の方に萩の魅力を一緒にお届けするようにしています。

Company profile 株式会社井上商店 本社 ■電話 0838-22-0812 ■https://www.hagiinoue.co.jp/

担当者からひとこと

情報提供やさめ細やかなサポートで地域を応援

山口銀行萩支店 三坂 哲郎



近年、銀行の営業姿勢は事業者と共に問題を解決していく「ソリューション営業」に大きく変化しています。

観光がメインの萩の町で、明治4年創業「井上商店」の井上社長は、自社のことだけでなく、常に“萩ブランド”をいかに外に発信していくかを考える地域のリーダー的存在です。萩という町に対する思いは、私共も同じです。今後いろいろと教わりながら、銀行ができるお手伝いをさせていただきたいと思っています。



宮島

世界遺産のある、
故郷。

Home town with the
world heritage

宮島・厳島神社

厳島神社は平安時代の寝殿造の粋を極めた日本屈指の名社。

廻廊で結ばれた朱塗りの社殿は、潮が満ちてくると、海に浮かんでいるような、不思議な建築美をたたえています。

厳島神社を
擁する宮島を
世界に誇る
国際観光拠点に



廿日市市環境産業部観光課

主任主事

高木

智子^{ともこ}さん

観光支援員

吉中

由希子^{ゆきこ}さん



平成27年の広島宮島の来島者数は約400万人。外国人観光客も多く訪れており、とくに廿日市市とフランスの世界遺産「モン・サン・ミッシェル」が観光友好都市となった平成21年ごろからは、フランスを始めとする欧米からの観光客が増えました。

世界遺産「厳島神社」に向かつてのびる「表参道商店街」ではアナゴやカキなど瀬戸内海で獲れた新鮮な海産物の食べ歩きが楽しめます。また、もみじ饅頭や杓子といったお土産は常に人気の的。さらに、商店街の本奥には、昔ながらの伝統的な町並が広がる「町家通り」もあり、見どころのひとつ。このように、見どころ、グルメ、土産と、宮島は観光に必要な要素が全て揃っています。

その一方で、大自然に囲まれた森林リゾートの地「吉和」も廿日市市の素晴らしい魅力。温泉やスキー場でゆつくり滞在するもよし。日帰りで何度も訪れるのもまたよし。そこにはいつでも、新しい発見があることでしょう。



もみじ銀行甘日市支店 渡辺 亮平

菓子“と”観光を 両輪として宮島の歴史・文化を 守り伝えていきたい



もみじ饅頭。こしあん、つぶあん、クリーム、チーズクリーム、チョコ、抹茶、栗など、季節限定品を含めると約20種類の味が揃っている。宮島本店では手焼き体験も楽しめる。

株式会社やまだ屋 代表取締役

中村 靖富満さん



宮島は、古くから島自体が「神の宿る島」として崇められてきました。平清盛や伊藤博文など歴史上の偉人たちの信仰を集めた「弥山」を中心として、日本人独特の自然崇拜を物語るものでもあります。

「やまだ屋」は、昭和7年に「もみじ饅頭の製造元」として創業、今年で創業84年目を迎えます。バラエティ豊かな味わいのもみじ饅頭に加え、平成9年には糯粉を使った「桐葉菓（とうようか）」を開発。もみじ饅頭に次ぐ看板商品へと育ててきました。

この地で商売をさせていただく者として、美味しいお菓子を作るのはもちろん、宮島の観光活性化や自然・伝統文化財を守り伝えていくことも、私たちに与えられた使命であると思っています。



桐葉菓。独自の小豆餡を糯粉の生地で包み、あっさりとしたソフトに焼き上げた桐葉菓はモチモチした食感が特長。第24回全国菓子大博覧会名誉総裁賞を受賞した自慢の味。
10個入り 1,320円(税込)

Company profile 株式会社やまだ屋 宮島本店 ■電話 0829-44-0511 ■http://momiji-yamadaya.co.jp/

担当者からひとこと

宮島に生まれた新しい風 新たな魅力を伝えていきたい

もみじ銀行甘日市支店 谷本 明穂



「世界遺産・宮島のある街」と説明すればわかってもらえるように、甘日市出身者にとって宮島は誇りであり、幼い頃から身近な存在でした。母の宮島土産はいつも「もみじ饅頭」で、それはまさに故郷の味そのもの。一方、やまだ屋さんの「桐葉菓」はモチモチした食感が美味しくて、故郷を離れて暮らす弟や友人に送ると「懐かしい!」と喜ばれます。

最近はお洒落なカフェやギャラリーがオープンするなど、宮島にも新しい風が吹き始めています。そんなフレッシュな若さが加わった元気な宮島に、もっと若い方にも来てほしいですね。



写真：建設中の官営製鐵所第一高炉(1900年)
提供：新日鐵住金株式会社八幡製鐵所

北九州

世界遺産のある、
故郷。

Home town with the
world heritage

官営八幡製鐵所旧本事務所(2015年 世界文化遺産登録)

官営八幡製鐵所創業2年前の明治32年に竣工した赤煉瓦構造の初代本事務所です。中央にドームをもつ左右対称の建造物で、長官室や技監室、外国人顧問技師室などが置かれました。また、大正11年、製鐵所の規模拡大に伴って中枢機能が移転した後は、鉄鋼研究所や検査室などとして利用されました。



ものづくりの
歴史を活かした
北九州市ならではの
産業観光を

～旧本事務所を見学するには！～

旧本事務所は、現在も稼働している製鐵所構内にあるため非公開ですが、以下の2つの方法で見学することができます。

■眺望スペース～80m離れた所から外観見学

◎営業時間／9時30分～17時【予約不要】

◎料 金／入場無料

◎定 休 日／毎週月曜日

◎お問合せ／北九州市観光情報コーナー 093-541-4189

■構内バスツアー～ついに実現！間近で見学できるバスツアー

◎催 行 日／主に土曜開催【要予約】

(空き状況や詳細日程はお問合せください)

◎料 金／大人2,300円、小人1,500円

◎ご 予 約／JTB九州受付専用 092-751-2102



この他にも、平成27年にオープンした「安川電機みらい館」と「TOTOMIUM」も人気のスポット。「企業の産業活動が文化になる」——世界遺産登録をきっかけに北九州市を訪れた観光客の方々に、ますます北九州の多面的な魅力を発信していきたいですね。

私のオススメは、製鐵所構内に入場し、世界遺産を中から見学できる週末限定のバスツアー。歴史の息吹を肌で感じることが出来ます。また、工場夜景もオススメで、定期クルーズ船に乗り込み、海上から眺める工場夜景はまさに別世界。稼働中の工場の煙突をライトアップした北九州アイアンツリーは、全国的にも珍しい、こだけの風景です。

北九州市の産業観光には、「工場見学・資料館」「世界遺産を含めた産業遺産」「環境観光」「工場夜景」の4本の柱があります。

生野 和彦さん

北九州市産業経済局観光にぎわい部観光課環境・ものづくり観光担当係長





若い人に
もつと気軽に和菓子屋に
足を運んでほしい

当店の人気NO.1商品、星野村抹茶生大福。福岡八女の「星野村産抹茶」をたっぷり使った抹茶クリームを、最高級丹波大納言を炊いたつぶ餡と、モチモチの羽二重餅で包み、星野村産抹茶を贅沢にふりかけたもの。

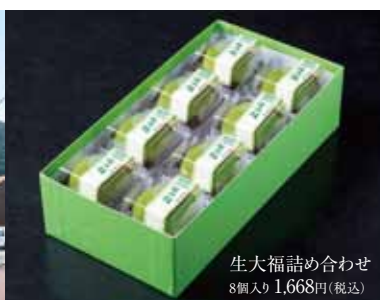
和菓子なごし 代表取締役

名越 一智さん



「なごし」の看板商品である「星野村抹茶生大福」が誕生して約10年。「店を代表する新しい和菓子を創りたい」という思いから、三代目の父と四代目の私とで創り上げ、育ててきました。

和菓子は、「土産や贈答用に買い求める」とはあっても、自分のためや家庭用にはなかなか…。洋菓子の気軽さに比べると「和菓子は『カタイ』」と感じている若い人たちに、生大福をきっかけに来店してもらい、和菓子職人がつくる本物の美味しさを知ってほしいと思います。



生大福詰め合わせ
8個入り 1,668円(税込)

店頭の看板や雑誌を見て来店されたお客さまの中には「エッ、こんなに小さいの?」と驚く方も多いのですが、意外に一口では食べられない大きさです。「もうちょっと食べたいな」と思えるサイズに仕上げています。実際に召しあがれば、十分満足していただけるはずです。

Company profile 和菓子なごし 本店 ■電話 093-321-3292 ■<http://www.nagoshi.co.jp>

担当者からひとこと

地元と一緒に街の活性化に取り組みたい

北九州銀行門司支店 梅嶋 修平



門司港に、和菓子の名店「なごし」在り。なごしさんの星野村抹茶生大福を買いに来たお客さまが門司港レトロを観光するなど、店の魅力は地域の賑わいと密接な関わりを持っています。

福岡出身の私は、門司港レトロを見た時に「福岡とは違う風景、北九州に来た」と感じました。地元を愛する地域の皆さんと一緒に、地元を元気にしていくお手伝いができればいいなと思っています。